

大場 正昭 議員

新年度事業への取り組みは

問 「市内で活躍する輝く女性支援事業」は素晴らしいネーミングであるが、どのようなことを意識して取り組んでいくのか。

答 これまで男女共同参画社会推進プランを策定し、市政や審議会などへの女性の参画拡大や、職場での男女平等に取り組んできた。引き続き、いろいろな審議会へ女性も参画できるような意識的に働きかけていきたい。

問 袋井駅南地区の土地利用とまちづくりについて、議会への具体的な内容と報告は。

答 土地区画整理事業をはじめ、シンボルロードの整備、色彩の統一、沿道緑化による景観の形成、商業施設の誘導や、南北自由通路、橋上駅舎化事業及び南口駅前広場整備事業などを実施していきたい。



三川地区の地域協働バス「かわせみ」

問 自主運行バスの抜本的な見直しと、地域協働バスの促進に向けてはどうか。

答 自主運行バスについては、中東遠総合医療センター線は26年度まで、市内路線は、27年度までをめぐりに検討していく。郊外地区については、地域協働バスやデマンドタクシーを導入するなど、それぞれの交通手段の利便性や費用対効果を考えながら、検討していく。静岡理工科大学とも共同で取り組んでいきたい。

田中 克周 議員

「プレミアム」商品券

発行事業はどうか

問 消費税増税後の消費の冷え込み抑制のため、また景気・経済対策と活性化のため、地元商工団体と連携して、プレミアム商品券の発行をすべきと考えるがどうか。

答 現時点では考えていないが、消費の動向により検討する必要があるので、商工団体の皆様と状況把握に努めていきたい。

「ミニ公募債」の

発行も必要

問 ミニ公募債を発行して、市民の皆さんから資金の協力を仰ぐことは、財政面での市民参加にも繋がるがどうか。

答 ミニ公募債は、市民の郷土愛を育むものであるが、金融機関の手数料等の面から、今後の研究課題としたい。

補助金を公募型に

見直すべき

問 26年度から団体補助金は一律3%削減される。本当に必要な団体に適切に補助するためには、一旦白紙に戻し、公募補助金制度を導入すべき。

答 公募型補助金は、第三者機関の審査による透明性・公平性の確保など有効な取り組みと考える。内容は異なるが、提案型の協働まちづくり事業で団体の活動を奨励している。



元気はつらつクーポン券の販売 (H23)